

地方議会議員セミナー及び政策勉強会報告書

平成28年7月14日(木)千代田区議会議場調査及び15日(金)開催のセミナーの概要について下記のとおり報告いたします。

1. 日 程 平成28年7月14日(木)
2. 視察場所 東京都千代田区役所議会議場

千代田区議会 議場

千代田区議会議場は、議場として使用しないときは、区民に開放し、多目的に利用してもらう事で整備した施設。

議場については、机、椅子は床に固定ではなく可動式。机は油圧式のジャッキで操作して移動可能とし、床面をフラットにして、すべて傍聴席下の倉庫に収納できるようにした。

各議席は、マイク、スピーカー、出・欠席ボタン、投票時の賛成・反対ボタンを設置。

議場正面に200インチのスクリーンを設け、プロジェクターも設置。これにより映写会に使用できる。

ミニコンサート、演劇などに対応した遮音性、音響に配慮した壁面構造。利用時には傍聴席と合わせて231席の利用が可能になる。また、可動式のステージ、移動式スピーカーの整備。

傍聴席は、車いす用利用のスペースを3席、耳が不自由な方の難聴者システム(専用の補聴器に議場内の音を増幅して聞いていただくシステム)の貸し出しや65インチのモニターを2台設置し、69席の傍聴席を設置している。

感想

今回視察させていただいた、千代田区役所議場は、平成19年2月に竣工し、議場を多目的利用可能にした先進例でありました。市議会でも議場スペースをどのようにすべきか議論を重ねて、千代田区の議場のような多目的ホールの活用する案を提案し、採用されるように推進、取り組んでいきたいと思ひます。

3. 日 程 平成28年7月15日(金)
4. 会 場 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り
5. 研修内容 **【国土強靱化政策と公共事業】**

【公共施設の再編問題とコンパクトシティ】

講師：森 裕之(立命館大学政策科学部教授)

国土強靱化政策と公共事業

2013年12月国土強靱化基本法、2014年6月に国土強靱化基本計画を国が策定し、人口の減少等による国民の需要の変化、社会資本の老朽化等を踏まえるとともに、財政資金の効率的な使用による施策の持続的な実施に配慮して、施策の重点化を図ることとしています。国の役割の大きさ、影響の大きさと緊急度の観点から、プログラムにより回避すべき起きている最悪の事態を想定し、特に重点的に取り組んでいく。また、様々な部局に関係することから、府省庁横断的に、地方公共団体や民間とも連携して総合的に推進して取り組んでいく政策について森先生の講義を聞いてきました。

地方自治体においても地域計画の策定が求められている。その際、既存の公共施設や公的不動産の集約・用途転換などを、有効利用しながら取り組むことが必要。

限られた資金を最大限に活用するため、PPP/PFIによる民間資金の積極的な活用を図ること。

国土基本計画に基づき事業等を実施すると、国から補助金の支援が受けられること。

公共施設のにより老朽化の進展・学校の題目で、市町村が管理する公共施設の37%を公立小中学校が占めている。建築後25年以上の施設は全体の7割を占めており改修が必要。

大規模自然災害等に対する国民の防災・減災等に資する国土強靱化により効率性・合理性を確保しなければならない。

財政資金の効率的な使用による施策の重点化を図ること。

感想

自主財源も4割弱と乏しい本市にとって、森先生の講義は、理想論的なところも感じられましたが、国の基本計画に沿って、事業を活用することにより、交付金等の支援を活用できることを受けられることを教えられました。そのためには、地域計画が急務であり、事業推進に取り組まなくてはならないと感じました。また、既存の公共施設の維持継続予算も沼田市においては、充足できない事態が今後、懸念されようとしているところなので、一刻も早く方針を打ち出さなければならないと感じました。

公共施設の再編問題とコンパクトシティ

全国各地の事例を中心に紹介しながら公共施設の再編、統廃合、またコンパクトシティへの実施と、人口を中心部へ集約し、「コンパクト化」の意味と意義の説明、提案を講義していただきました。

富山市の事例 市内環状線「セントラム」 郊外から市内中心部に路面電車を乗り入れ、富山市内中心部への集約化を図る。

相模原市の事例 都心へのつながりが強い相模原市は、まちづくりの重要な施設の整備以外、新規の施設整備は行わない方針。

さいたま市の事例 旧大宮市、旧浦和市、旧与野市、旧岩槻市の4市と合併し、東京のベッドタウンとなっているさいたま市は、インフラ3原則（現状の投資額を維持・ライフサイクルコストの縮減・効率的に新たなニーズに対応）する取り組み

秦野市の事例 公共施策の特徴として、昭和30年に繰り返し合併した秦野市は、旧村単位の学校は、現在でもコミュニティーの中心であるので、統廃合は、よほどのことがない限り市内とのこと。また、公共施設を子育て支援・行政事務・社会福祉法人に貸すことにより、利活用してもらい高齢者などにとって便利な街づくりを躍進する。

浜松市の事例 市全体の約2000施設のうち、継続、移転、廃止などデータベース化により約300の施設を削減する。

飯田市の事例 長野県南部の中心都市飯田市は、825件の公共施設があり、約61%が築30年以上で老朽化が進んでいる。公共施設に関する基本的な政策方向のみを市民に提示し、検討そのものを第1義的な目的として、目的別検討会議、地域別検討会議を設置し、利用方途(継続、長寿命化、廃止、集約、多機能化、民営化等)を市民各地域の住民に将来を自ら考えてもらおうと取り組んでもらう。

感想

富山市の路面電車は、私も1昨年利用させてもらいました。近隣都市まで伸びており、富山市に用事、通勤、通学に利便性を感じました。また、JRの駅と供用していてとても便利だと思いました。事例は、自治体の大小がありますが、各市状況を鑑みて、対応に取り組んでいるのだと思いました。沼田市にとって非常に参考になるものがありました。市議会においてもまた、早い時期に取り組んでいかなければならないと痛感しました。

永井敏博

地方議会議員セミナー及び政策勉強会報告書

平成29年1月17日(火)・18日(水)開催のセミナーの概要について下記のとおり報告いたします。

1. 日 程 平成29年1月17日(火)・18日(水)
2. 会 場 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り
3. 研修内容 17日【公共施設マネジメント2】
18日【公民の役割の変化と連携】

講師：南 学(東洋大学客員教授)

公共施設マネジメント

どのような視点で地方自治体は、取り組んでいくべきなのかを中心に抗議された。人口減少や財源減少を背景に、それに合わせての公共施設の運営、施設管理が必要であること。事例の神奈川県鎌倉市の鎌倉芸術劇場では、施設の更新工事に20億円にも及ぶ費用がかかる。劇場利用の用途が専門的で、利用者の大半は市外の人、利用市民はごく限られたわずかな人、この状況をどう評価するのか。公共施設を基幹専用施設と交流汎用施設の2つに分けての再検討を提案されていました。

先進事例として、東京武蔵野市の武蔵野プレイスを挙げ、同施設は、図書館機能、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援等の機能を持った複合施設として設置され、年間150万人の利用者があると報告された。今まで目的別、点在していた施設を集約した複合施設に見直すべきと提案していました。

庁舎や学校施設の利用の状況やあり方について、学校のプール利用は、夏の3週間程度しか使用されてなく、学校ごとに設置するのではなく、地域で統合して屋内プールを設置することで、年間を通じ水泳教育ができるようになる。また、市民に開放し利用することにより稼働率も上がりコスト減につながると提案していました。

2日目公民の役割の変化と連携

昨日に引き続き、事例を交えながら、講義がなされ 図書館の例ですが、行政が直接行わなくても民間に委託して運営する図書館が出てきている。民間が委託運営することにより、人件費の削減(3割から4割)、貸し出しの本の冊数を評価対象とするだけでなく、本、資料の閲覧や学習などで入館する入館者数を評価対象として、目的別により多くの市民が利用できる場所

にすべきと提案しました。

民間企業 北海道函館市の TSUTAYA の例ですが、TSUTAYA では店内のフリースペースを設け、高級家具を置き、コーヒーを飲みながら休憩でき、イベント空間では月に 100 件ほどの講座が無料で開催され、年間 300 万人を超える来館者がいること。民間の企業と手を組み官民が一緒になり、連携を図ることにより、公共施設を民間に運営を任せ、活用すべきことを提案していました。

大阪城の例では、大阪市では大阪城公園の全部を指定管理制度にして、民間運営にし、収益金の数%を大阪市へ納入している。

感想

2 日間の講義では、事例や南先生の提案などを聞き、行政はコスト意識を持って公共施設の管理、運営のあり方を考えなければならないと教えられ大いに参考になりました。

永井敏博

。スジマツジ案並とちへすコ

ホスーヘスーシマの内親が AYATU2T、ホソウ岡の AYATU2T の市前函直並非 業金間列
のし到料 001 ことけが間空イノント、ちつ懸料の依が本類を一コーロ、ち罰を具案端高、ち罰
列育成際ち年と業金の間列。とこるの依許前来るよ思き人て 008 間中、はち罰開の料無依並端
案並さるこちへす田番、せ罰を管並の間列を端端共公、てえこのこる図を連取、てえこの端一依
。スジマツジ

益取、この管並間列、アこの更端懸管並並を端金の岡公無列入けが市測大、けが岡の無列大
。るのツ入端へ市測大さめ取の金

思懸

管の端端共公の料を端意イヌニお題管、ち問さる案並の土波南の岡中、けが端端の間目と
。スジマの依の許前来るよ思き人て 008 間中、はち罰開の料無依並端

朝 意 共 米